

1. Course Description

人体において各器官系がどのように働き、どのように協調して一つの個体を形成しているかを考えることで、それぞれの役割と相互の関連性を明らかにしていきます。人体構造・機能の知識を深めることにより1 柔道整復術の理論的根拠を考察する力、2内科的・外科的疾患の存在を感じ取る嗅覚を養い専門医への紹介などを判断・推測できる力を習得します。また習得した解剖学的な知識を臨床で患者へ分かりやすく伝えるために、専門的用語を出来るだけ使用せずにどのように説明すべきか?についてなどをグループディスカッションし発表していただきます。この授業ではDP1に関する知識、技法、態度を習得します。

2. Course Objectives

柔道整復業務を行うに必要な解剖学の知識を養うことを目標とします。ならびに、柔道整復師国家試験に合格するための基礎医学の知識を高めます。

3. Grading Policy

講義内の2回の試験成績にて評価します。最後の講義でテストの振り返りをします。

4. Textbook and Reference

Textbook

『全国柔道整復学校協会監修 解剖学』
『全国柔道整復学校協会監修 生理学』
講師自作の国家試験過去問題集プリント
※必要に応じて随時資料を配布します。

5. Requirements(Assignments)

国家試験対策という面も持ち合わせていますので、学力アップのために授業内容以外の箇所を講義して欲しいという要求にも柔軟に対応するつもりです。内容の順序の変更も可能です。クラスの学力アップのために最大限、講義を活用してください。

6. Note

必ず、手書きのノートを作成してください。

7. Schedule

- [1] ガイダンス、および細胞の構造と機能を理解する
- [2] 消化管の成り立ちを理解する
- [3] 肝臓の構造と働きを理解する
- [4] 鼻腔・咽頭・喉頭の構造を理解する
- [5] 気管支・肺の構造を理解する
- [6] 学力評価試験(第1回)
- [7] 腎臓・膀胱の構造を理解する
- [8] 尿道と男性生殖器を理解する
- [9] 女性生殖器の構造を理解する
- [10] 視覚器の構造を理解する
- [11] 聴覚・平衡器の構造を理解する
- [12] 中枢神経の構造を理解する
- [13] 脳神経の分布を理解する
- [14] 脊髄神経と伝導路を理解する
- [15] 学力評価試験(第2回)と2回の試験の振り返り